

地域ケア推進会議のまとめ

1 助言いただいた柏市の課題

- ▶ 定期的な開催ができ、本人のニーズに合った通いの場が少ない
- ▶ 介護保険サービス卒業後でも通え、運動ができる場所がない
- ▶ 見守りの必要性は高いが、地域同士の声かけ・見守りができる環境・仕組みがない
- ▶ 安価で利用できる交通手段がない

2 助言内容

レベル		把握している地域の実情と課題	居場所や見守りへの提案
市域	移動手段	<ul style="list-style-type: none">• 地域のサロン・医療機関等身近な場所までの交通手段がない• バス停が家から遠い• タクシーの利用料が高い• 移動が困難になると医療機関から離れてしまう	<ul style="list-style-type: none">• 民間企業バスを地域の高齢者も利用できる制度• 送迎付きの市民活動の場や学習の場の提供• 商業施設や地域のコンビニと連携した送迎の取り組み
	介護保険サービス卒業向け	<ul style="list-style-type: none">• 自宅での入浴は難しいが、入浴施設には行く高齢者がいる	<ul style="list-style-type: none">• 入浴施設に通いやすいような移動手段• 介護保険卒業後の民間ジムへの入会金補助制度
	感染症対策	<ul style="list-style-type: none">• 新型コロナウイルス感染症対策を具体的にどのようにしたらよいか分からない	<ul style="list-style-type: none">• 専門職や市職員が実際のサロン会場へ感染予防対策の指導へ行く
日常生活圏域	住民同士のネットワーク構築	<ul style="list-style-type: none">• 民生委員活動が知られていない	<ul style="list-style-type: none">• 自治会や町会と民生委員の意見交換会
		<ul style="list-style-type: none">• 震災をきっかけとして、防災の観点からマンションで救援隊を結成し、毎年訓練を実施している	<ul style="list-style-type: none">• マンション単位でのみまもり組織の結成
	介護保険サービス卒業向け	<ul style="list-style-type: none">• たすけあいサービスでも生活できそうなかたでも、医療関係者から勧められ、介護保険申請してしまう	<ul style="list-style-type: none">• 医療機関からの介護保険サービス申請前の地域包括支援センターへの相談経路の確保
	薬剤師との連携	<ul style="list-style-type: none">• 薬局以外で患者と関わる機会がない	<ul style="list-style-type: none">• 地域住民から相談がある場合のケアマネジャーや民生委員からの薬局への声かけ• 自宅に薬を配達する等のサービスの活用

3 今後について

- 民間企業への協賛金の提案や入浴施設やスポーツクラブを利用しやすい環境整備
- 配達サービス等隠れたニーズの把握
- コミュニティごとのたすけあい団体やサークル活動の情報を集約した冊子の作成
- サロン再開に向け、社会福祉協議会と連携したコロナ禍における新しいサロン活動への支援・対応